

海青中学校芸術鑑賞会へのご案内

令和7年度スクールコンサート 佐賀神楽団



海青中保護者の方だけでなく、地域の方もご鑑賞いただけます。

2025年6月13日(金) 海青中学校体育館

13:30～14:20

進行の都合により、時間が5分程度前後する場合があります。

佐賀神楽団とは

2020年12月、佐賀県の伝承芸能の活性化や観光の振興などを目的に結成。嬉野市を中心に活動する劇団のメンバー11人で構成。神楽で地域振興に取り組んでいる広島県安芸高田市の神楽団員から直接指導を受け稽古に取り組んでいる。

2021年9月、佐賀県や嬉野市の関係者、嬉野の観光業に携わる方に向け、神楽の演目のひとつ、「滝夜叉姫」を披露した。

2023年8月には、佐賀の成り立ちの話を題材にした「佐嘉郡」を完成。2024年8月には、佐賀神楽団結成当初から行っている佐賀県立太良高等学校での神楽の授業内にて生徒たちと太良高校オリジナル演目「大魚伝説」を作製し、太良町にある海中鳥居前にて披露した。

今後も、佐賀県に伝わる各地の伝承や文化と融合させ、新たな神楽を創っていく。

佐賀神楽団の母体となる劇団怜とは

福岡、佐賀を中心に拠点に活動する劇団。代表・宮田悠輝仁。地元を題材にした作品を通じ、各地の文化や伝承などを新たな解釈で楽しめる舞台を創作する。元祖忍者村肥前夢街道を中心に九州各地での忍者活動や、2020年から「佐賀神楽団」を結成するなど地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

代表・宮田悠輝仁さんのプロフィール

佐賀県出身。東京の大学に進学後、演劇の道へ。学校公演を中心に日本各地を巡り総ステージは500を超える。独立後、福岡を中心に活動。劇団怜を立ち上げ、福岡や佐賀の演劇文化の発展を目指す。

写真と文章は、「佐賀神楽団」のホームページから